水稲直播栽培特報（第４号）

令　和　３　年　７　月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

目指せ!なのはな米1等比率95%以上!!　～「R3　JAなのはな米品質向上運動」実施中～

本年の直播コシヒカリは、平年よりやや遅い生育となっており、間もなく幼穂形成期を迎えます。
高品質米を目指し、引き続き適切な水管理を行うとともに、病害虫防除を徹底しましょう。

1　水管理

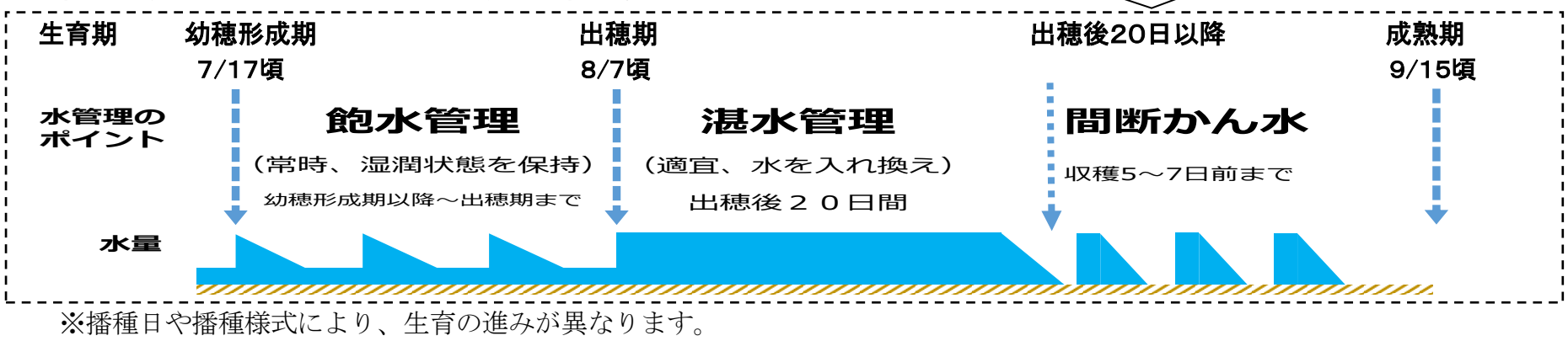
稲体の活力維持のため、生育時期に応じた水管理を行いましょう。

＜水管理のポイント＞

〇幼穂形成期まで･･･**「間断かん水」**（幼穂形成期頃までに足跡の深さ３㎝程度の土壌硬度に誘導）
〇幼穂形成期から出穂期まで･･･**足跡に水たまりが残る程度に「飽水管理」**
〇出穂後 20 日間･････････････**常時水が溜まっている「湛水管理」**
〇刈取りの5～7日前まで･････････**落水を急がず「間断かん水」**

フェーンが予想される場合は、事前に湛水状態を確認！

■幼穂形成期後の水管理のイメージ（４月末播種の場合）■



※播種日や播種様式により、生育の進みが異なります。

2　追加穂肥

《※肥効調節型基肥施用ほ場への追加穂肥対応》

地力の低いほ場は、稲体の活力が低下しないよう、適正葉色に誘導しましょう。

出穂7～10日前頃に必ず葉色を確認し、葉色4.0（砂壌土は4.2）を下回る場合は、速やかに追肥3号で7kg/10a を施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5（砂壌土は4.5）へ誘導しましょう。

なお、鉄コーティング直播は倒伏しやすいので、慎重に判断しましょう。

3　病害虫防除

今年度もカメムシ類が多発しています！！

なのはな農協管内でカメムシ調査（7/1）を行った結果、雑草地に平年よりも確認地点率が高く、多くのカメムシ類を確認しました。

斑点米等による品質低下を防ぐため、カメムシ類等の防除を徹底しましょう。

ｱｶﾋｹﾞﾎｿﾐﾄﾞﾘｶｽﾐｶﾒ

ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ

なのはな農協管内で多い斑点米カメムシ類

カメムシ類対策として必ず防除しましょう。

防除時期（コシヒカリ８月７日頃出穂の場合）		主な対象病害虫	農薬名	10a 当たり散布量
生育ステージ	時期の目安			
穂揃期	8月10～12日頃（出穂3～5日後頃）	いもち病 カメムシ類	ビームキラップジョーカー粉剤 DL	3～4kg
			ビームキラップジョーカーフロアブル	1,000 倍　150ℓ
傾穂期	8月17～19日頃（穂揃期防除の7日後頃）	カメムシ類	トレボンスター粉剤 DL	3～4kg
			トレボンスターフロアブル	1,000 倍　150ℓ

※前年に紋枯病が多発した圃場は、出穂前に発生状況を確認し、必要に応じて防除を行いましょう。

穂ばらみ期～出穂直前	7月27日～7月29日頃（出穂10日前頃）	紋枯病	バリダシン粉剤DL	3～4kg
			モンカットフロアブル	1,000 倍　150ℓ

＜留意事項＞

〇防除の際は農薬の使用基準を正しく守るとともに、農薬飛散防止のため、風のない時に散布しましょう。
〇ほ場毎に生育状況を確認して適期に防除しましょう。
〇防除間隔は7日を基本とし、10日以上空けないようにしましょう。

**農作業の際は、日中の気温の高い時間帯を外して農作業を行いましょう。
また、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！**